












令和4年(ワ)第31814号 懲罰取消等請求事件
原告 八木橋健太郎
被告 国

証拠説明書

令和6年12月12日

東京地方裁判所民事第3部A1イc係 御中

被告指定代理人	輿	水	将	利	
	野	澤	雅	宏	
	古	瀧	孝	明	
	五十嵐		雅	子	
	内	城		良	
	廣	田	和	俊	
	川	崎	洋	史	
	堀	川	武	紘	
	鈴	木		剛	
	関		俊	吾	
	浅	野	隆	教	

略称は、答弁書等の例による。

号証	標目 (作成者)		作成 年月日	立証趣旨
乙81	被収容者の物品の保管等について (平成19年5月30日矯成33 42矯正局長通達) (矯正局長)	写し	H19.5.30	共同室に設置する保管私物の保管 設備については、その一部又は全 部を施錠できる構造とするよう努 めることとされていること。 なお、黄色マーカーは被告指定代 理人による。
乙82	「被収容者の金品の取扱い等に関 する実施細目」の制定について (抜粋) (平成23年11月10日本件セ ンター長達示31号) (本件センター長)	写し	H23.11.10	被収容者が使用する居室内の保管 私物バッグには錠を付けるととも に、被収容者に対し、保管私物 バッグから物品を出し入れする場 合以外は、施錠することを指導す るものとする旨規定されているこ と。 なお、黄色マーカーは被告指定代 理人による。
乙83	喜連川社会復帰促進センター被収 容者に係る金品の取扱細則 (令和6年6月26日本件セン ター長達示28号) (本件センター長)	写し	R6.6.26	被収容者が使用する保管私物バッ グには、原則として所有者を特定 できるよう称呼番号を表示し、番 号鍵を貸与し、その施錠も被収容 者自身に行わせるものとする旨規 定されていること。 なお、黄色マーカーは被告指定代 理人による。
乙84	所内生活の心得(抜粋) (本件センター長)	写し	R3.4.28	保管私物(書籍等も含まれる。)は 被収容者自身が自らの責任におい て適正な管理を心掛ける旨、被収 容者に周知していること。 なお、黄色マーカーは被告指定代 理人による。
乙85	動静経過表(令和2年9月8日～ 同月9日)(抜粋) (本件センター)	写し	R2.9.8～9	本件センターが、令和2年9月 8日、原告に対し、備付け書籍の 貸与について取り計る旨告知した 上で、備付け書籍の一覧表11枚 を貸与したこと等
乙86	動静経過表(令和2年9月11日 ～同月12日)(抜粋) (本件センター)	写し	R2.9.11～ 12	本件センターが、令和2年9月 11日、原告に備付け書籍を貸与 したこと。

乙87	動静経過表(令和2年10月8日～同月9日)(抜粋) (本件センター)	写し	R2. 10. 8～9	本件センターが、令和2年10月8日、原告に対し備付け書籍の一覧表を貸与したこと等
乙88	動静経過表(令和2年10月10日～同月11日)(抜粋) (本件センター)	写し	R2. 10. 10～11	本件センターが、令和2年10月10日、原告に備付け書籍を貸与したこと。
乙89	報告書(令和6年12月3日付け) (本件センター処遇部処遇部門統括矯正処遇官)	写し	R6. 12. 3	本件センターにおける令和4年4月16日当時の被収容者数や被収容者宛ての金品等の差入件数等を取りまとめた資料等の調査結果
乙90	報告書(令和6年12月3日付け) (本件センター処遇部処遇部門統括矯正処遇官)	写し	R6. 12. 3	処遇工についての当時の勤務職員に対する聴取等の結果
乙91	報告書(令和6年12月3日付け) (本件センター処遇部処遇部門統括矯正処遇官)	写し	R6. 12. 3	原告が令和3年10月から同年11月にかけて従事していた作業内容等
乙92	報告書(令和6年12月3日付け) (本件センター処遇部処遇部門統括矯正処遇官)	写し	R6. 12. 3	本件センターにおける令和4年1月20日当時の被収容者数や診察予定者数を取りまとめた資料等を確認した結果